



■心がひとつになった南こうせつさんと地元コーラス隊との大合唱

南こうせつさんと大合唱

宝くじまちの音楽会

昨年11月にリニューアルしたあいこうか市民ホール。これまで各種の記念事業が開催されています。2月8日(金)には、宝くじまちの音楽会「南こうせつ with ウー・ファン 心のうたコンサート」が開催され、会場は多くのファンで満員となり、心に響く唄とともに素敵なひとときを楽しみました。また当日は、市民を中心とした地元コーラス隊が結成され、南こうせつさんと『故郷』と『満天の星』と一緒に大合唱、会場の皆さんも口ずさみながらともに素敵な時間を過ごしました。なおこの事業は、宝くじ助成事業として開催されたものです。

家庭菜園から人間の発見!?

甲南町深川の森野美代子さん宅の畑で、人間の手の形をしたダイコンがとれました。

年間を通して季節の野菜を育てている森野さんが、自宅敷地内の家庭菜園で、このダイコンを見つけたのは昨年末のこと。数ある変形したダイコンの中に、このダイコンを見つけ、驚いて写真に収めたそうです。

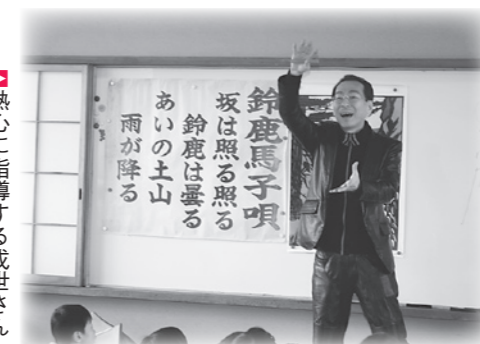
このめずらしいダイコン、しばらくはご近所ににぎわせていたようです。



■森野さんと手の形をしたダイコン

民謡のプロから歌い方を伝授

鈴鹿馬子唄学習塾



■熱心に指導する成世さん



■節回しを学び元気に鈴鹿馬子唄を歌う児童たち

プロの民謡歌手が、民謡の良さを楽しく親しみやすく指導する鈴鹿馬子唄学習塾が土山地域の小中学校で開催されました。郷土の民謡を次代に伝え、より歌唱力を高めようと、あいの土山文化体育振興会が10年前から開いています。毎年地元で開催される鈴鹿馬子唄全国大会への出場者も多い山内小学校では、2月6日(水)、全校児童44名が、民謡歌手の成世昌平さんから、馬子唄の歌い方のコツを教わりました。成世さんは、この日の児童の出来を期待していた以上の「120点」と評価、「立派に歌えたことに自信を持って」と子どもたちを激励しました。同校の皆さんは、2月23日(土)に開催された新名神高速道路の開通記念式典でも、その歌声を披露しました。

日本語って難しい…でもみんな優しいから素敵な国

外国人による日本語スピーチ大会

“つたえよう 私のおもい”びわこ日本語ネットワーク主催の第4回外国人による日本語スピーチ大会が2月10日(日)、碧水ホールで開催されました。当日は、アメリカやブラジル、スリランカ、中国、韓国、ウズベキスタン出身で甲賀市を始め、県内で活躍する外国人10名が、自分の思いを日本語で発表しました。

皆さんは、日本語が難しく困ったことや色々な文化に触れて自分自身の考え方が変わったこと、また日

本の人にもっと外国の文化に心を開いて欲しいことなどを発表。日本語の流ちょうな方、そうでない方さまざまでしたが、思いは、会場の方に十分伝わったようです。なかには今日本で流行のギャグを使い、会場から大きな笑いを誘う方もありました。

当日は中嶋市長も参加、国際化が進む甲賀市の状況を踏まえて歓迎のあいさつをしました。



■日本語でスピーチを披露した外国人の皆さん